

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	・自立と社会参加をめざして、各学部の教育内容の標準化に向けた取り組みを推進し、それぞれが系統性のある教育課程の編成や組織的な授業改善に取り組む。	①新学習指導要領を学部で共有し、必要に応じて教育課程を見直す。 ②研修会の見直しを行う。外部から助言のあった研修会を行う。	①校内研究で取り上げ、教育課程を見直す。 ②研修会を点数化して評価し、研修内容を見直す。	①校内研究で取り上げ、教育課程を見直すことができたか。 ②研修会を点数化して評価し、研修内容を見直すことができたか。助言のあった研修会を実施できたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	・児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、よりよく生きるための多様な教育的ニーズに対応した支援、指導を組織的・連携的に行う。	①相談支援や専門職の利用について保護者の理解を図る。 ②ICT 機器を活用した授業実践の研修会を行う。	①保護者懇談会で、相談支援や専門職の利用について、話す機会を設ける。また、面談等で担任から、相談支援や専門職の利用のお知らせを配付する。 ②校内外の講師を活用し、ICT 機器を活用した授業実践の研修会を行う。	①保護者懇談会で、相談支援や専門職の利用について、話す機会を設けることができたか。また、面談等で担任から、相談支援や専門職の利用のお知らせを配付することができたか。 ②校内外の講師を活用し、ICT 機器を活用した授業実践の研修会を行うことができたか。					
3	進路指導・支援	・一人ひとりが将来をより豊かに自分らしく生きるために、障がいの特性や発達段階に応じた社会生活に移行できる進路指導・支援を行う。	①日頃の授業が「自立と社会参加」につながっていることを意識し、取り組む。また、保護者向け進路懇談会の内容を職員にも伝え共有する。 ②保護者や地域の方が求めている情報ニーズをリサーチする。	①授業の振り返りシートを作成し、全職員にアンケートを実施する。学部会等で、保護者向け進路懇談会の内容を職員に伝える。 ②保護者や地域の方が求めている情報ニーズについてアンケートを実施する。	①授業の振り返りシートを作成し、全職員にアンケートを実施することができたか。学部会等で、保護者向け進路懇談会の内容を職員に伝えることができたか。 ②保護者や地域の方が求めている情報ニーズについてアンケートを実施することができたか。					
4	地域等との協働	・共生社会の実現に向け、障がいのある子どもの理解者・支援者を増やすために地域とのつながりを広げ、深める教育活動を展開する。	①切れ目ない支援部会の在り方について見直す。 ②地域と学校の資源を一覧表にしてまとめ、職員間で共有するとともに、保護者や地域に発信する。	①切れ目ない支援部会の構成員を増やし、取り組む。 ②地域と学校の資源を一覧表にまとめ、保護者や地域に発信する。	①切れ目ない支援部会の構成員を増やし、取り組むことができたか。 ②地域と学校の資源を一覧表にまとめ、保護者や地域に発信することができたか。					
5	学校管理 学校運営	・不祥事防止に努め、同僚性の良質化を図り、職員一人ひとりが当事者意識を持ち、不祥事ゼロをめざす。 ・児童生徒の安全と健康を守り、良好な教育環境の整備を推進する。 ・教員の働き方改革を推進するための教員の意識改革を図る。	①職員一人ひとりが当事者意識を持ち、不祥事ゼロをめざす。 ②様々な訓練の改善を図るとともに、必要な物品を揃えていく。 ③長時間勤務を是正する。	①毎月の企画会議や職員会議で事故防止に取り組む。 ②訓練実施後の反省をもとに改善し次に活かす。また、必要な物品を揃えていく。 ③学部、グループでデータ管理状況を学期に1回把握する。	①毎月の企画会議や職員会議で事故防止に取り組むことができたか。 ②訓練実施後の反省をもとに改善し次に活かす。また、必要な物品を揃えることができたか。 ③学部、グループでデータ管理状況を学期に1回把握することができたか。					